製品安全データシート

改訂日：2008年3月20日

1. 製品及び会社情報

製品名	トリクロロ酢酸
会社名	米山薬品工業株式会社
住所	大阪市中央区道修町２丁目３番１１号
担当部門	品質管理課
電話番号	(06)6393-4001
FAX番号	(06)6396-7714
緊急連絡先	米山薬品工業（株）三国工場
整理番号	DE0135

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性

急性毒性（経口）： 区分5
皮膚腐食性・刺激性： 区分1A-1C
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性： 区分1
生殖細胞変異原性： 区分2
発がん性： 区分2
生殖毒性： 区分2
特定標的臓器・全身毒性： 区分2（呼吸器）
（単回ばく露） 区分3（麻酔作用）

＊記載のないものは「分類対象外」，「分類できない」または「区分外」。

ラベル要素

絵表示又はシンボル

注意喚起語：危険

危険有害性情報：
飲み込むと有害のおそれ
重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
重篤な眼の損傷
遺伝性疾患のおそれの疑い
発がんのおそれの疑い
生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
呼吸器の障害のおそれ
眠気及びめまいのおそれ

注意書き：
安全対策】
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
使用前に取扱説明書を入手すること。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
粉じんを吸入しないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
【救急処置】
吸入した場合、空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
飲み込んだ場合：口をすすぐこと。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。
皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。
衣類にかかった場合、直ちに、すべての汚染された衣類を脱ぐこと、取り除くこと。
汚染された保護衣を再使用する場合には洗濯すること。

ばく露又はその懸念がある場合、医師の診断、手当てを受けること。
眼に入った場合、直ちに医師の診断、手当てを受けること。
気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
吸入した場合、直ちに医師の診断、手当てを受けること。
【保管】
施錠して保管すること。
【廃棄】
内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成､成分情報

単一製品･混合物の区別	単一製品
化学名	トリクロロ酢酸
成分及び含有量	９９．０％以上
危険有害成分	トリクロロ酢酸
化学式又は構造式	◇分子式…Ｃ２ＨＣｌ３Ｏ２ ◇示性式…ＣＣｌ３ＣＯＯＨ
官報公示整理番号	◇化審法…（２）－１１８８ ◇安衛法…公表
CAS No.	７６－０３－９ ◇TSCA…有り ◇EINECS…２００９２７２

4. 応急措置

眼に入った場合	１．清水で十分に洗い流す。 ２．医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	１．汚染された衣服や靴を脱がせる。 ２．清水で十分に洗い流す。 ３．医師の診断を受ける。
吸入した場合	１．新鮮な場所に移し、安静、保温する。 ２．医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火方法	
消火要領	１．周辺火災の場合の処置は次による。 ・容器を安全な場所に移動する。 ・移動不可能な場合は、容器を破損しないように注水し冷却する。 ・周辺火災の消火に努める。
消防活動装備	１．防護衣。 ２．空気呼吸器。 ３．循環式酸素呼吸器。 ４．ゴム長靴。
消火剤	粉末、泡，炭酸ガス、水噴霧

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	付近の着火源となる恐れのあるものを速やかに取り除く。風上から作業を行い、風下の人を退避させる。作業は保護具を着用する。
環境に対する注意事項	濃厚廃液の河川、下水等への流出を避ける。
除去方法	１．容器に回収する。 ２．消石灰、ソーダ灰等で中和し大量の水で洗い流す。 ２．水溶液の大量流出は、土砂等で流出拡大防止を図り回収する。 ４．少量の流出は、砂、油処理剤等で回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

注意事項	重度の火傷を引き起こす。
安全取扱い注意事項	錠をかけ子供の手の届かない場所に保管する。皮膚および眼との接触を避ける。眼に入った時は、直ちに多量の水で洗い流し医師の診察を受ける。事故が起きたときあるいは気分が悪い場合、直ちに医師の診察を受ける（出来ればﾗﾍﾞﾙを見せる）。
安全な容器包装材料	ガラス
取扱い	１．腐食性。 ２．吸湿性。 ３．糜爛性。 ４．突然変異誘発性のおそれ。 ５．粉塵の吸入を避ける。 ６．眼、皮膚、衣服との接触を避ける。 ７．長時間または反復の暴露を避ける。 ８．取扱後完全に洗浄。
保管	１．強い吸湿性。 ２．密封。 ３．冷乾燥場所に保管。

8. 暴露防止及び保護措置

安全管理上の留意事項	１．火気厳禁とする。
許容濃度	ACGIH（２００３年） TLV－TWA　１ppm ６．７mg／m３
設備対策	
貯蔵上の注意	１．強い吸湿性。 ２．密封。 ３．冷乾燥場所に保管。
保護具	１．局所排気または呼吸用保護具。 ２．保護手袋。 ３．保護衣。 ４．安全シャワー。 ５．安全ゴーグル。 ６．顔面シールド。 ７．洗眼器。

9. 物理的及び化学的性質

外観等	強い潮解性をもった結晶で、わずかに特異臭があり、腐食性は強い。
密度(比重または嵩比重)	1.629
溶解性	水にきわめて溶けやすく、その溶液は強酸性である。またアルコール、エーテルにも溶けやすい。
pH	該当情報なし
爆発限界	該当情報なし
沸点	１９６～１９７℃
融点	５７～５８℃
引火点	１１０℃以上

10. 安定性及び反応性

危険有害な分解生成物	塩化水素
加熱･燃焼	危険性有 １．燃焼により有毒ガス（塩化水素等）を発生する。
水との接触	危険性有 １．水溶液も強酸性で腐食性が強い。
空気との接触	危険性無
混触等	危険性有 １．強アルカリとの混触により発熱することがある。

11. 有害性情報

皮膚に触れた場合	１．薬傷、壊死をおこす。

眼に入った場合	１．角膜等の炎症をおこす。
吸入した場合	１．鼻、のど、気管支等の粘膜が激しく侵される。
刺激性	ラビット　２１０μg；MILD（皮膚） ラビット　３，５００μg／５S；SEVERE（眼）
急性毒性	
経口	ﾗｯﾄ　LD50　3300mg/Kg ﾏｳｽ　4970mg/Kg
がん原性	IARC；グループ３ ACGIH；A３
変異原性	微生物；サルモネラ菌（＋S９）；陽性 染色体異常；マウス（腹腔内・経口）；陽性 小核；マウス（生体内・腹腔内）；陽性

12. 環境影響情報

分解性･濃縮性	
分解性	３９％（by BOD）
濃縮性(倍率)	コイ０．４～１．０倍（２００μg／ｌ） コイ＜１．７倍（２０μg／ｌ）
魚毒性	ヒメダカLC５０／４８H　２７７mg／ｌ 微生物等による分解性がなく、魚介類の体内において、１．濃縮性又は蓄積性がない、あるいは低い、２．高濃縮性ではないと判断された物質（化審法既存点検）

13. 廃棄上の注意

１．可燃性溶剤に溶解または混合し、アフターバーナーおよびスクラバー付きインシナレーターの中で焼却。

14. 輸送上の注意

容器の漏れのないことを確かめ落下、転倒、衝突を避ける。その他法等の定めるところに従う。

IMDG	クラス８　等級II
ICAO／IATA	クラス８等級II　PAT８１５（１５kg）Y８１５（５kg） CA0８１７（５０kg）
国連番号／国連分類	ＵＮ１８３９（トリクロロ酢酸、固体）クラス８　等級II

15. 適用法令

化学物質管理促進法(PRTR法)	該当しない
毒物及び劇物取締法	第２条別表第２劇物（トリクロル酢酸）
バーゼル法	第２条特定有害廃棄物等（０．１重量%を超えるもの）
労働安全衛生法	施行令第１８条の２〔名称等を通知すべき有害物（ＭＳＤＳ対象物質）〕
薬事法	第４４条（施行規則第５２条）劇薬 第２９条（施行規則第３６条）指定医薬品
外為法	輸出令別表第２の３５の２項（０．１重量%を超える廃棄物）
船舶安全法	危規則第３条危険物等級８腐食性物質（固体，正８容器等級２）（溶液，正８容器等級２，３）
航空法	施行規則第１９４条危険物腐食性物質（固体，Q等級２）（溶液，正８容器等級２，３）
港則法	施行規則第１２条危険物（腐食性物質）（溶液，等級３のものを除く）

16. その他の情報

引用文献	化学品安全管理データブック(化学工業日報社)

記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報　データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。